

はじめに

1 明治期～昭和期における南九州の鉄道敷設の歴史と現状

(1) 鹿児島県内の路線

- ①官設鉄道
- ②私設鉄道
- ③未成線

(2) 宮崎県内の路線

- ①官設鉄道
- ②私設鉄道
- ③未成線

⇒南九州の「②私設鉄道」を発行株式の購入傾向から分析

(3) 鉄道古文書と地域の鉄道関係史料の状況

①鉄道古文書<鉄道院文書・鉄道省文書>

国立公文書館（東京都千代田区北の丸公園）、鉄道博物館（埼玉県さいたま市大宮）

②宮崎県庁文書

③南薩鉄道関係文書

南薩鉄道記念館（南さつま市加世田本町）、鮫島家襖文書（鮫島家？南さつま市教委？）

④大隅鉄道関係文書

鹿屋市鉄道記念館（鹿屋市）

2 鉄道の復活に向けた取り組み～高千穂あまてらす鉄道を事例に

(1) 高千穂鉄道の歴史と廃線まで

- ①高千穂鉄道の敷設と民営化
- ②高千穂鉄道の廃線と高千穂あまてらす鉄道の誕生

(2) 高千穂あまてらす鉄道の取り組み

- ①社長や社員の熱い思いと現実とのはざままで
- ②観光利用をメインに
- ③高千穂鉄道復旧のための試行運転と地域とのつながり
- ④教育的なアプローチ ～子どもたちに魅力を伝え、つなぐ
- ⑤オリジナルグッズの制作と販売が功を奏す

3 鉄道に関する史・資料の保存と継承

(1) 公的史料の保存と活用

(2) 私有財産の保存と課題

(3) 建造物の保存と活用

「嘉例川駅舎」・「大隅横川駅舎」（国登録文化財）ほか

おわりに

- 地方鉄道の将来 ～地域社会とつながり、ともに前へ進む
- 友人の投稿から（南日本新聞掲載）